

平成28年度 磐田市立岩田小学校 学校評価書

*「A=かなり当てはまる B=まあ当てはまる C=あまり当てはまらない D=ほとんど当てはまらない」として各自が評価

重点	目標・取組	評価指標(教師側の表現)	自己評価	A+Bの%	考察・改善策	学校関係者評価委員から	備考
一人一人に寄り添った授業、教育活動の実践	<p>進んで学び合う子</p> <p>「授業の内容が分かる」95% 「わからないことをそのままにしない」90%</p> <p>○授業の充実・ユニバーサルデザインを生かした授業の実践</p>	1 子どもは、授業の内容がよく分かっている。	児童 100 保護者 83	95	<p>○昨年度に引き続き、どの子にも「わかる」「楽しい」授業にするために、ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくりに取り組み、授業の充実を図った。今年度は、話し合い活動の充実を力を入れた。理解した内容を表現することで再確認したり、友達に説明して自分の理解をさらに深めたりするような活動を行った。教員の研修では、それぞれが授業研究に取り組み、互いの授業を参観し合っ授業力の向上に努めた。その結果、「授業の内容が分かる」と答えた児童は昨年度よりも増え、目標を達成することができた。「わからないことをそのままにしない」については、教員や保護者の評価が低いことから、もっと主体的に学習に取り組む姿勢を育てるために、どの子も「分かった」「できた」と実感できる授業を積み上げる必要がある。</p> <p>○家庭学習については、「家庭学習の手引き」にそって各学年の発達段階に合った取組ができています。宿題を忘れがちな児童は固定化されているが、学級担任が個別指導を繰り返したり、その子に合った課題を与えたりして、定着を図っている。</p> <p>○読書については、保護者の評価が低い。80%の児童が必読図書を読み終えるなど、学校では読書に親しんでいる姿が見受けられる。今年度は「家庭でできたかなカード」を配布して、1週間に一度は家族で本を読むことを推奨しているが、家庭では親が忙しく、子どもとゆっくり読書をする時間が取れないのではないかと考えられる。</p>	<p>○子どもたちに繰り返し練習をさせて(学習面、生活面ともに)、基礎的なことを身に付けさせてほしい。よい指導者はわかりやすく説明ができる人、更により指導者はやって見せることのできる人である。相手の心に火をつける人が素晴らしい指導者である。</p> <p>○子どもを叱ることができ教師が必要である。そして、叱った後は必ずフォローをしてほしい。納得させる叱り方が大事である。</p>	磐田市 共通
		2 子どもは、授業が楽しいと思っている。	児童 100 保護者 89	93			磐田市 共通
		3 子どもは、分からないことをそのままにしないで、教師に聞いたり、自分で調べたりして解決している。	児童 100 保護者 74	89			磐田市 共通
		4 子どもは、自信をもって思いを発言している。	児童 90 保護者 73	83			磐田市 共通
		5 自分は、一人一人に分かりやすく教えている。	児童 90 保護者 94	98			磐田市 共通
		6 自分は、授業をわかりやすくするために、工夫・研究している。	児童 100 保護者 99	98			磐田市 共通
		7 子どもは、「家庭学習の手引き」にそって、家での勉強をしっかりと行っている。	児童 100 保護者 80	93			磐田市 共通
		8 子どもは、外国語活動の授業が楽しいと思っている。	児童 100 保護者 86	93			磐田市 共通
		9 子どもは、よく読書をしている。	児童 100 保護者 64	92			磐田市 共通
一人一人に寄り添った授業、教育活動の実践	<p>進んで力を合わせる子</p> <p>「私には良いところがある」90% 「友達の良いところを知っている」90%</p> <p>○自他の良さを認め、自分の良さを生かす人間関係の構築 ・友達のよさを伝える場面の設定 ・効果的な教師の称揚</p>	10 子どもは、学校に楽しく通っている。	児童 100 保護者 96	94	<p>○「進んで力を合わせる子」の項目については、児童、保護者ともにより評価であった。縦割り活動の「岩っ子の時間」では、様々な活動を行うだけでなく、振り返りの時間を設けて、互いの良さを認め合うことができるようにした。これは来年度も継続していきたい。</p> <p>○「自分や友達の良さを知っている」と回答した児童は90%を超えている。小規模校であるために互いの良さを認め合い、自分の良さも発揮できていると考えられる。</p> <p>○「学校が楽しい」「学級や学校にはルールを守り、協力する雰囲気がある」についての評価も高いことから、温かな土壌づくりができ、児童は安心して学校生活を送っていると考えられる。ユニバーサルデザインの視点からも、すべての児童にとって生活のしやすさが大切である。今後も全職員で意識していきたい。</p>	<p>○「ありがとうの会」(6年生を送る会)では、子どもたちがのびのびして、大きな声で歌を歌っていた。地域の方々を招いて感謝するという会の伝統を引き継いでいってほしい。</p> <p>○地域での挨拶の声が小さかったり、下校時に枝やごみを拾ってから、捨てて帰る子どもがいたりするのが残念だ。</p>	磐田市 共通
		11 学級や学校には、お互いにルールを守り、協力する雰囲気がある。	児童 100 保護者 96	97			磐田市 共通
		12 子どもには、学校に相談できる人がいる。	児童 100 保護者 84	93			磐田市 共通
		13 自分は、子どものことを理解して指導している。	児童 90 保護者 94	91			磐田市 共通
		14 子どもには、困っている人を助けるやさしさがある。	児童 90 保護者 95	93			磐田市 共通
		15 子どもは、すすんで挨拶をしている。	児童 100 保護者 93	98			磐田市 共通

進んで運動する子	「体を動かすことが好き」90% ○体を動かすことを楽しむ経験増加 ・体力アップコンテストへの取組 ・学級遊びの設定	16	子どもは、友達によさや自分のよさを分かっている。	児童 80 保護者 92	○「体を動かすことが好き」と回答した児童は90%には達しなかったが、外遊びの奨励や学級遊びの設定を通して、外で楽しく体を動かす機会を増やしてきた。運動会の一輪車演技、持久走記録会、縄跳び大会などに向けての取組では、児童が声を掛け合って主体的に練習したり、目標に向かって協力し合ったりする姿が多く見られた。一輪車や縄跳びでは、上級生が下級生を助け、教える場面も設定し、教師の力に頼らなくても、子どもたち同士で問題を解決しようという意識も高まったと考える。		
		17	子どもは、目標に向かい、根気強く取り組んでいる。	児童 93 教員 90 保護者 83			
		18	子どもは、体を動かすことが好きである。	児童 86 教員 100 保護者 89			
		19	子どもは規則正しい生活を心がけている。	児童 92 教員 100 保護者 86			
		20	学校は、子どもの健康のための取り組みを行っている。	児童 98 教員 100 保護者 96			
開かれた学校	○信頼にこたえる ・向陽学府一貫教育 ・コミュニティ・スクール(地域と目標を共有・育ちを保障)	21	子どもは、自分の将来に対して夢や希望をもっている。	児童 94 教員 100 保護者 86	○「住んでいる地域の歴史や自然への関心」については、保護者の評価が低い。社会科や生活科に授業において、地域の歴史や自然についての題材は扱っているが、保護者はそれを知らないのではないかと思う。学校だよりや学年だより等で、そのような授業の様子を知らせていく必要がある。 ○地域の方々の支援、協力により、児童が様々な体験活動を行うことができた。地域の方々は「岩田小の子どもたちのために」という気持ちをもって協力してくださっている。今後も学校の応援団として、子どもたちを支えていただけるように、地域と学校がWin-Winの関係でいられるようにしたい。 ○今年度は向陽学府CSD(コミュニティスクールディレクター)が配置され、学校と地域を結ぶ役割を担った。CSDが、中学生が総合などで作成した掲示物をコンコースに掲示し、児童が見て刺激を受けた。来年度もCSDを活用して、コミュニティ・スクールをさらに推進していきたい。	○学校に何でも聞けばよいというような、学校と地域の良い関係を保ちたい。 ○「学校の応援団」として、愛称をつけて地域のボランティアを募ると良いのではないかと。岩田故郷の会は6年目となり、様々な作物を作っている。小学校との交流が少ない(12月のそば打ちのみ)ので、連携を図りたい。 ○PTA活動のあり方として、役員の引き受け手が少ないので、役員の負担を少なくしていけるとよい。 ○学府一体校の今後の動きを教えてください。	磐田市 共通
		22	子どもは「自信をもち、進んでチャレンジする子」はどんな子か知っている。	児童 92 教員 100 保護者 86			
		23	子どもは、家で学校や教師の話をよくしている。	児童 82 教員 80 保護者 78			
		24	子どもは、今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある。	児童 84 教員 80 保護者 60			
		25	学校は、学校自慢づくり「岩っ子活動の充実」「一輪車への挑戦」「様々な交流学習」を中心に、特色ある教育活動を行っている。	児童 80 教員 100 保護者 99			
		26	学校は保護者や地域の人に授業や行事等学校の様子を参観する機会を設けている。	児童 96 教員 100 保護者 100			
		27	学校は、子どもや諸活動のことについて、気軽に相談できる雰囲気にある。	児童 93 教員 93 保護者 93			
		28	子どもは、「自信をもって、進んでチャレンジする子」へと育ってきている。	児童 91 教員 91 保護者 91			